

北海道身体障害者新聞

発行人 (社)北海道身体障害者福祉協会 赤坂 勝
札幌市中央区南三条西六丁目(かてる2-7)
電話 011-251-1551
ホームページ www.hokusinkyo.or.jp
北海道障害者社会参加推進センター
電話 011-251-9302
毎月 25日発行
会員購読料(年) 90円(会費を含む)
非会員 同 2,000円

新年明けましておめでとうございます



社団法人 北海道身体障害者福祉協会 会長 赤坂 勝

皆様には、ご健健で健やかに新たな年をお迎えになられたことと存じ、心からお慶び申し上げます。そして本年も宜しく御願ひ申し上げます。

昨年の全道福祉大会は、夕張身体障害者福祉協会を始として多くのボランティアの方々のご支援を得、七百余名の会員の参加を得て、夕張市で開催させていただきました。広域な北海道の障がい者福祉について、加盟団体の皆さんと幅広い問題について様々な議論を交わし、徐々にはありますが共通理解が得られたのではないかと存じますし、成功裡に終えることができましたこと、これもひとえ

全道身体障害者福祉大会

夕張大会第二回推進委員会を開催

昨年十二月八日(火)、社団法人北海道身体障害者福祉協会(会長 赤坂 勝)は、札幌市内の道民活動センターで全道身体障害者福祉大会夕張大会第二回推進委員会(委員長 赤坂 勝)を開催し、夕張大会の全体総括、第五十九回全道身体障害者福祉大会帯広大会の日程等について協議・決定した。主な内容等は次のとおり。

【主な内容等】

▼委員長挨拶

推進委員会の開催に当たり、委員長から「皆さん方には夕張大会でいろいろとご苦労をいただき心からお礼を申し上げます。今年の新語・流行語大賞は「政権交代」であったが、見てみると新政権には決断力がない。もう試運転期間も過ぎたと思

うが、経済は二番底の様相となり、ようやく2次補正予算が決定した。最大の関心事として、障害者自立支援法については、廃止して、もう一度、作り上げると説明されているので、我々としては今後の動向をしっかりと注目していかなければならない。本日は、夕張大会の総括などを行う会議でもあるので、皆さん方と一緒に議論し、また、

してデフレスパイラルによる不況は止まることを知らず、そのことによるリストラや派遣切り、倒産といった厳しい状況は昨年にもまして強く感じられるのは私ばかりではないと考えます。とりわけ、そうした厳しい局面で北海道における障がい者の環境もまた、我々が標榜する目的にはほど遠いところにあることも事実であります。それは、それぞれの地域で皆様も感じ

なっているのではと推察されます。そんな中であつても、私たちは「二十一世紀は共生の時代」と位置付けており、障がいのある無しにかかわらず、国民が等しく相互に個性を尊重しあう共生社会の構築に最大のエネルギーを傾注しなければなら

いと考えております。しかし、役員だけで進展するものではなく加盟団体の皆様の更なる絶大なご支援、ご協力が必要不可欠であり、今年「寅年」虎穴に入らずんば虎子を「得ず」という諺もありませんが、焦らず共に目標に向かって一歩一歩進んでいきたいと考えております。どうか、宜しく御願ひ申し上げます。

年の初めにあたり、この一年が会員皆様にとって素晴らしい年であり、事を祈念すると共に、それぞれの地域で障がい者福祉の向上のために活躍される事を期待し年頭のご挨拶いたします。

忌憚のない発言をお願いしたい。」と挨拶があつた。

▼第五十八回大会夕張大会

参加者は七百十六名と昨年より五十名余り増加。

「大会運営・進行」については、様々な反

省点が指摘され、今後の大会に向けて留意

することとされた。

「収支決算」については、夕張大会決算書として報告され承認された。なお、当初、危惧され

た赤字決算については、夕張身体障害者協会の努力によって回避されたことも、併せて報告された。

「採択案件の取扱い」については、全道大会で審議・採択された七件の要望事項について協議が行われ、一件を除く六件の案件について、国や道等の関係機関に要望書を提出することが決められた。

▼第五十九回大会帯広大会

開催日程は、今年の十月十六日(土)・十七日(日)の二日間とし、会場は帯広市民文化ホール。

開催内容は、要望事項などを分科会で十分議論し、全体会議に諮るようとする、講演も行う、また、役員の方担する業務を決めて、地元と調整しながら進めるなどの発言が出され、今後、課題として検討することとされた。

▼大会の持ち方・第六十回大会の開催地等

毎年の実施を確認するとともに、開催時期は九月十日前後に早めて欲しいなどの意見が出された。その他、第六十回大会の開催地の選定などについても協議が行われた。



全道大会推進委員の皆さま

「協力」を「町内会の回覧協力による日身連収益事業は、あなたの協会に還付されております。」

北海道身体障害者新聞

謹んで新年のお慶びを申し上げます
平成二十二年元旦

社団法人北海道身体障害者福祉協会

- | | | | |
|-----|-------|------|--------|
| 会長 | 赤坂 勝 | 副会長 | 政田 一美 |
| 副会長 | 瀧山 征治 | 常務理事 | 和真 真一 |
| 理事 | 岩波 勝二 | 理事 | 佐藤 芳太郎 |
| 理事 | 山本 克光 | 理事 | 中山 昭夫 |
| 理事 | 阿部 利雄 | 理事 | 福垣 則子 |
| 理事 | 日高 支庁 | 理事 | 日高 支庁 |
| 理事 | 十勝 支庁 | 理事 | 十勝 支庁 |
| 理事 | 釧路 支庁 | 理事 | 釧路 支庁 |
| 理事 | 根室 支庁 | 理事 | 根室 支庁 |
| 監事 | 大天 郁子 | 監事 | 佐藤 實 |

- | | | | |
|------|--------|------|-------|
| 函館市 | 岩波 勝二 | 根室市 | 滝川 スキ |
| 小樽市 | 赤坂 勝 | 千歳市 | 伊東ミツ子 |
| 旭川市 | 稲垣 則子 | 滝川市 | 鈴木 利彦 |
| 室蘭市 | 政田 一美 | 砂川市 | 工藤 公人 |
| 釧路市 | 瀧山 征治 | 歌志内市 | 太田フサ子 |
| 帯広市 | 阿部 利雄 | 深川市 | 秋山 功 |
| 北見市 | 佐藤 芳太郎 | 富良野市 | 井上 和正 |
| 夕張市 | 小林 孝雄 | 登別市 | 熊谷 昭吾 |
| 岩見沢市 | 三宅 睦男 | 恵庭市 | 鹿野 均 |
| 網走市 | 加々見 國男 | 伊達市 | 石川 鐵雄 |
| 留萌市 | 清水 覚 | 北広島市 | 太田 巖 |
| 苫小牧市 | 西田 清吾 | 石狩市 | 古泉 利雄 |
| 稚内市 | 井澤 勝義 | 北斗市 | 関口 岩男 |
| 美幌市 | 大矢 郁子 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 芦別市 | 武田 貞信 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 江別市 | 八木 秀幸 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 赤平市 | 若山 武信 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 紋別市 | 斎藤 真規雄 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 士別市 | 寺下 亘 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 名寄市 | 木村 喜代志 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |
| 三笠市 | 奥村 一 | 北海道庁 | 岩男 勝義 |

- | | |
|------------|-------|
| 北海道中途失聴者協会 | 松永 雅晴 |
| 北海道中途失聴者協会 | 中西 昭夫 |

- | | |
|-----|--------|
| 札幌市 | 岩波 勝二 |
| 札幌市 | 赤坂 勝 |
| 札幌市 | 佐藤 芳太郎 |
| 札幌市 | 中山 昭夫 |
| 札幌市 | 福垣 則子 |
| 札幌市 | 日高 支庁 |
| 札幌市 | 十勝 支庁 |
| 札幌市 | 釧路 支庁 |
| 札幌市 | 根室 支庁 |
| 札幌市 | 大天 郁子 |
| 札幌市 | 佐藤 實 |

- | | |
|-----|--------|
| 札幌市 | 岩波 勝二 |
| 札幌市 | 赤坂 勝 |
| 札幌市 | 佐藤 芳太郎 |
| 札幌市 | 中山 昭夫 |
| 札幌市 | 福垣 則子 |
| 札幌市 | 日高 支庁 |
| 札幌市 | 十勝 支庁 |
| 札幌市 | 釧路 支庁 |
| 札幌市 | 根室 支庁 |
| 札幌市 | 大天 郁子 |
| 札幌市 | 佐藤 實 |

社団法人日本義肢協会会員

株式会社 札幌義肢製作所
代表取締役 関 守
札幌市中央区南三条西六丁目
電話代表(〇一)二四一〇九八六番

札幌義肢製作所旭川支店
支店長 舛田 裕司
旭川市五条通十二丁目
電話(〇一六六)二四一五三三番

有限会社 野坂義肢製作所
札幌市中央区南三条東四丁目
電話(〇一)二二一四〇六番

有限会社 河笠義肢製作所
小樽市長橋四丁目七番二十九号
電話(〇一三四)二二一三〇四二番

株式会社 馬場義肢製作所
函館市豊川町一五〇一七
札幌市北區太平七条二丁目
室蘭市母恋北町一三〇三六
釧路市富士見一五〇九
電話(〇一)三八三二一六五五番

株式会社 田村義肢製作所
札幌市中央区北四條東五丁目
電話(〇一)二〇一七七七番

有限会社 三愛義肢製作所
岩見沢市志文町九二三番地二六
電話(〇一)二二二二一六四三番

株式会社 協和義肢製作所
岩見沢市三条西八丁目
旭川市十條通り九丁目
電話(〇一)二二二二一六四三番

有限会社 美唄義肢製作所
代表取締役 松田 清勝
美唄市東七条北四丁目七番九号
電話(〇一)二二六二一〇九三三番

有限会社 千葉義肢製作所
釧路市若草町七番二一
電話(〇一)五四二二一〇三八一
FAX(〇一)五四二二一〇九八八番

平成21年度盲ろう者通訳・介助員養成講座 受講者を募集します

- 1 受講対象 この講座は、盲ろう者（「視覚と聴覚について重複して障がいのある重度の盲ろう者」をいいます。）の福祉に理解と熱意を有する者に対し、盲ろう者のコミュニケーション手段と移動介助についての知識と技術等の講習を行うことにより、通訳・介助員を養成し、盲ろう者の福祉の増進に資することを目的としています。このため、受講対象者は、養成講座の全ての受講が可能な20歳以上の者で、修了後、通訳・介助員として登録し、派遣を担う意思のある方とします。
- 2 主催 北海道（社団法人北海道身体障害者福祉協会）
- 3 協力 社会福祉法人全国盲ろう者協会、札幌盲ろう者福祉協会
- 4 募集定員 20名（養成の趣旨を踏まえて選考します。）
- 5 開催日時 平成22年3月5日（金）～3月7日（日）の3日間
- 6 日程表 下記のとおり。
- 7 受講料 無料。ただし、教材等の一部について自己負担あり（3,000円程度）。
- 8 募集期間 平成22年1月12日（火）～2月19日（金）
- 9 問合せ及び申込先 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 道民活動センタービル4階
社団法人北海道身体障害者福祉協会
電話 011-251-1551 FAX 011-251-0858

開催日時	場所	講義等
3月5日（金） 9時30分～17時	道民活動センタービル	開講式・オリエンテーション 講義（盲ろう者福祉概論・コミュニケーション論） 講義（盲ろう者として） 実技（盲ろう者疑似体験）
3月6日（土） 9時～17時	道民活動センタービル	講義（盲ろう者と手話） 講義（盲ろう者と音声、筆記） 実技（コミュニケーション実習①（手話、音声、筆記）） 実技（食事実習（盲ろう状態で弁当を食べる）） 実技（コミュニケーション実習②（手話、音声、筆記）） 実技（盲ろう者の移動介助）
3月7日（日） 9時～16時30分	道民活動センタービル	実技（通訳・介助の実習） 講義（通訳・介助員として） 講義（通訳・介助活動について考えてみよう） 説明（派遣事業について） 閉講式（修了書授与）

要望事項と回答（概要）

第一回

平成二十年の第五十七回全道身障者福祉大会北斗大会に提出され採択された要望は、その後、推進委員会で検討・整理して十一件の要望事項として関係機関へ要望し、その結果（関係機関からの回答など）については、第五十八回全道身障者大会夕張大会で報告・了承されていますが、その概要について、何回かに分けてお知らせします。

要望一

障がいの権利に関する条約を早期に批准してください。（函館市身障連合会）

【回答】（回答がありません）

したが、今後、「障がい者制度改革推進本部」を設置し、ここで条約批准に向けた障害者基本法の改正なども検討すると伺っています。

要望二

身体障がい者のためのグループホーム、ケアホームを創設するとともに、その施設整備費用については国による責任ある補助を行なってください。（宗谷支庁地区）

【回答】道としても国に要望してきたが、厚生労働省告示の改正により平成二十一年十月一日から身体障がい者の方もグループホーム・ケアホームが利用できるよう、自立支援給付費の拡充が図られ、併せて施設整備も助成対象になると伺っている。（回答：北海道）

要望三

北海道（支庁）主催の講演会等のイベントの際には、聴覚障がい者や視覚障がい者が参加しても情報取得できるよう、主催者で要約筆記者、手話通訳者、点字資料を用意してください。（函館市身障連合会）

【回答】道としては、できるだけ多くの道民の皆様への施策や取組みに関する情報を提供・周知し、ご理解をいただきたいと考えている。聴覚障がい者や視覚障がい者の方への情報保障を図るうえで講演会等のイベントを行う際に

は、要約筆記者や手話通訳者、点字資料の配付などに極力配慮するよう努めてまいりたい。（回答：北海道）

要望四

病院での順番待ちの際に、聴覚障がい者にも分かるよう待ち状況、所要時間、名前、番号等の情報について、ディスプレイ等による視覚的表示をするよう指導してください。（函館市身障連合会）

【回答】視覚に障がいのある方々に対しては、視覚的表示による情報の提供は非常に重要であることから、障がいの特性や当該表示の必要性等について理解が深まるよう普及・啓発を図るなど、道内における情報バリアフリーの推進に努めてまいりたい。（回答：北海道）

困りごと、悩みごとへ

※秘密は固く守られています。
電話 〇一一一五二一一三三三
FAX 〇一一一五二一一三三五

第十四回障害者による書道・写真全国コンテスト

審査結果の発表

この度、全国身体障害者総合福祉センター（戸山サンライズ）主催のコンテストの結果が発表されました。全国から千百点を超える応募があり、北身協が取りまとめた道内分（書道八点、写真十一点）からは、書道部門三点と写真部門二点が入賞しました。入賞作品は次のとおり。

書道の部の入賞

銅賞 豊浦町 小野寺房子
題「奇跡的生還」



銅賞 函館市 小笠原喜久雄
題「蘭亭序王羲之」



銅賞 京極町 山本敬太郎
題「華」



写真の部の入賞



新ひだか町 佐々木裕
題「鯉する季節」

銅賞



恵庭市 泉 司
題「行く年の顔（日の出）」

文芸

短歌

由仁町 中嶋つぎ子
世慣れしてデイサーピスへ通る
来る亡母の齢と重なり合いて
ためらいつつ心の内を証す師の
ほほえむ顔に安らぎ見たり

俳句

恵庭市 西島 明
欲ひとつ又ひとつ失せ干菜吊る
古里の島には触れず三平汁
ほろ酔いや優先席に着ぶくれて
川 柳

北広島市 本多 司
宇宙一残して燃えたファイターズ
初雪に風の子はしゃぐ通学路
財政の身体検査丸裸
芦別市 戸原 寿夫
いつしか似た者夫婦の深め酒
冬の波小石鳴らして引けにけり
立冬の海になりたる日の出かな
急がしく時計鳴りたる師走かな

「町村協会だより」への投稿をお待ちしています

今月の「町村協会だより」は、都合により休みます。なお、まだ掲載されていない町村協会の皆さんからのお便りや写真をお待ちしています。

安心と実績で全道をネットする
認定補聴器専門店
岩崎電子 補聴器センター

本店 札幌市中央区南2条西3丁目 東南カド

札幌駅前 札幌市中央区北3条西2丁目 札幌H・S・ビルF

新札幌店 札幌市厚別区厚別中央1条6丁目 ホクノービル3F

手稲店 札幌市手稲区前田1条12丁目

旭川店 旭川市宮下通9丁目 キタノビル1F

函館店 函館市杉並町8-20 オカダビル

苫小牧店 苫小牧市東町5丁目5-1

室蘭店 室蘭市中島町3丁目25-1 TMビル

お問い合わせ 0120-231-282
本社 岩崎電子株式会社
札幌市中央区南2条西3丁目東南カド

印刷・クリーニング・縫製のご用命は
社会福祉法人 北海道リハビリ

身体障害者授産施設
リハビリ・エイト

身体障害者授産施設
リハビリ・クリーナース

障害福祉サービス事業所
リハビリ・おおぞら

身体障害者授産施設
札幌ワークセンター

地域活動支援センター
ポ プ ル ス

障害福祉サービス事業所
セルブさっぽろ
(ウエルプラザやまはな)

施設利用ご希望の方はお気軽にご相談ください
法人事務所 北広島市西の里507番地1
TEL (011) 375-2111 (代) FAX (011) 375-4051

NISSIN 株式会社
ニッシン自動車工業
北海道支店

身体障害者用・自動車運転装置/販売・取付

札幌市志文町九二二二二二
電話 〇一一二六〇三三〇八〇五番

HOP ホップ障害者地域生活支援センター

札幌市東区北二十条東一丁目五十一大西ビル一階
TEL 〇一一一七四八二二〇
FAX 〇一一一七四八二二〇

リフト付き車両での移送サービスと障害者ヘルパー派遣
介護保険に関するお問い合わせお申し込みは

クリーニングは光生舎
光生舎 クリーナース
光生舎 ワークショップ
光生舎 エルム・ライニング
光生舎 ライト・スラザ
光生舎 メディック・エル
光生舎 クリーン・セブン
光生舎 スラザイン・サッポロ
光生舎 虹の里
光生舎 虹の里 デイサービスセンター
光生舎 フーレビル
ケアハウス すいこう

○施設の利用を希望される方は
お気軽にご相談下さい。

連絡先 (社福)北海道光生舎
電話 0125-32-3221
担当 厚生部

LP 株式会社 ライフパス

札幌市北區篠路一条八丁目六番三〇号
電話 〇一一一七七一四七
FAX 〇一一一七七一四七

リフト付貸切バス
ハートケア福祉タクシー(ストレッチャー対応)

有限会社 岩見沢義肢

岩見沢市緑が丘二丁目八六番地八
電話代表 〇一一二六二二二一五五〇番